

ここが聞きたい！ 一問一答

代表質問
5会派
個人質問
8人



9月定例会
で行われた
一般質問の様子を
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

質問ルール

代表質問
質問時間

20分+
会派人数
×5分

個人質問
質問時間

1人
30分以内

質問回数

回数制限
無し

次回は
12月
定例会

※代表質問は3・9月定例会で行われます

おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。
質問の様子はHPでも公開していますが、
ぜひ傍聴にお越しください。

※HPには定例会から約1カ月後に公開します。

次回質問日(予定)

12月 9日(水) 個人
10日(木) 個人
11日(金) 個人

9時30分から!



市長 子ども議会の目的は、将来を担う子供たちが子ども議会を体験することにより、政治、議会及び選挙の仕組み等について学び、理解と関心を深めることで、社会参画への態度や意欲を培うものである。福山市では、毎年市内の小中学生を子ども議員に認定し、まちづくりについて議場で市長や教育長に質問・提案が行われている。こうした取組は、市の将来を担う子供たちが本市の現状や課題を知り、若い世代からの視点から要望や質問を発表することを通して、市政に対する関心を高めることに

子ども議会について問う

議員 市の四、五十年先を考えるにあたり、将来を担う子供たちがどのような笠岡だったら住み続けたいと思うか、といったテーマでの意見を聞く場を設けてはどうか。



讃志会

質問者

ひがしかわさぶろう
東川三郎 議員

所属議員

おくのやすひさ
奥野泰久 議員
おおやまもりひさ
大山盛久 議員
はらだ
原田てつよ 議員
やまもと さとし
山本 聡 議員

議員 6月議会で否決された配備計画について、新艇の計画があると聞いたが、新艇なら理解が得られるといった考えでいいか。

消防長 島しょ部の救急搬送体制を考え、検討してきた。離島を持つ瀬戸内沿岸の自治体もほとんどが救急艇を配備していた。救急艇配備が最も早く対応ができ、命に係わることであるため一刻も早く取り組む必要がある。計画する新造船であれば御理解を得られると判断し、基本設計に係る予算を上げさせていただいている。

救急艇配備について問う

つながる。その結果、子供たちが主体性を持って本市の将来の在り方を考え、今後の市政に反映されていくことで、笠岡にずっと住み続けたいと思えるようになっていくことが期待される。